

株式会社ジモティー

埼玉県における自治体様協業による
循環型社会実現・ゴミ削減にむけた
リユース促進の取り組みについて



会社概要

会社名: 株式会社ジモティー

所在地: 東京都品川区西五反田1-30-2

設立: 2011年2月

事業内容: クラシファイドサイト「ジモティー」の企画・開発・運営

従業員数: 93名（2021年3月末現在） ※臨時雇用者数43名を含む

経営陣: 代表取締役社長 加藤貴博

取締役 片山翔

取締役 岩崎優一

取締役 日向野朋実

社外取締役 伊藤邦宏 ※株式会社NTTドコモ マーケティングメディア部長
兼 マーケティングプラットフォーム推進部担当部長（現任）

社外取締役 吉田大志 ※本多・森田・吉田法律会計事務所 パートナー（現任）

監査役 平井新也

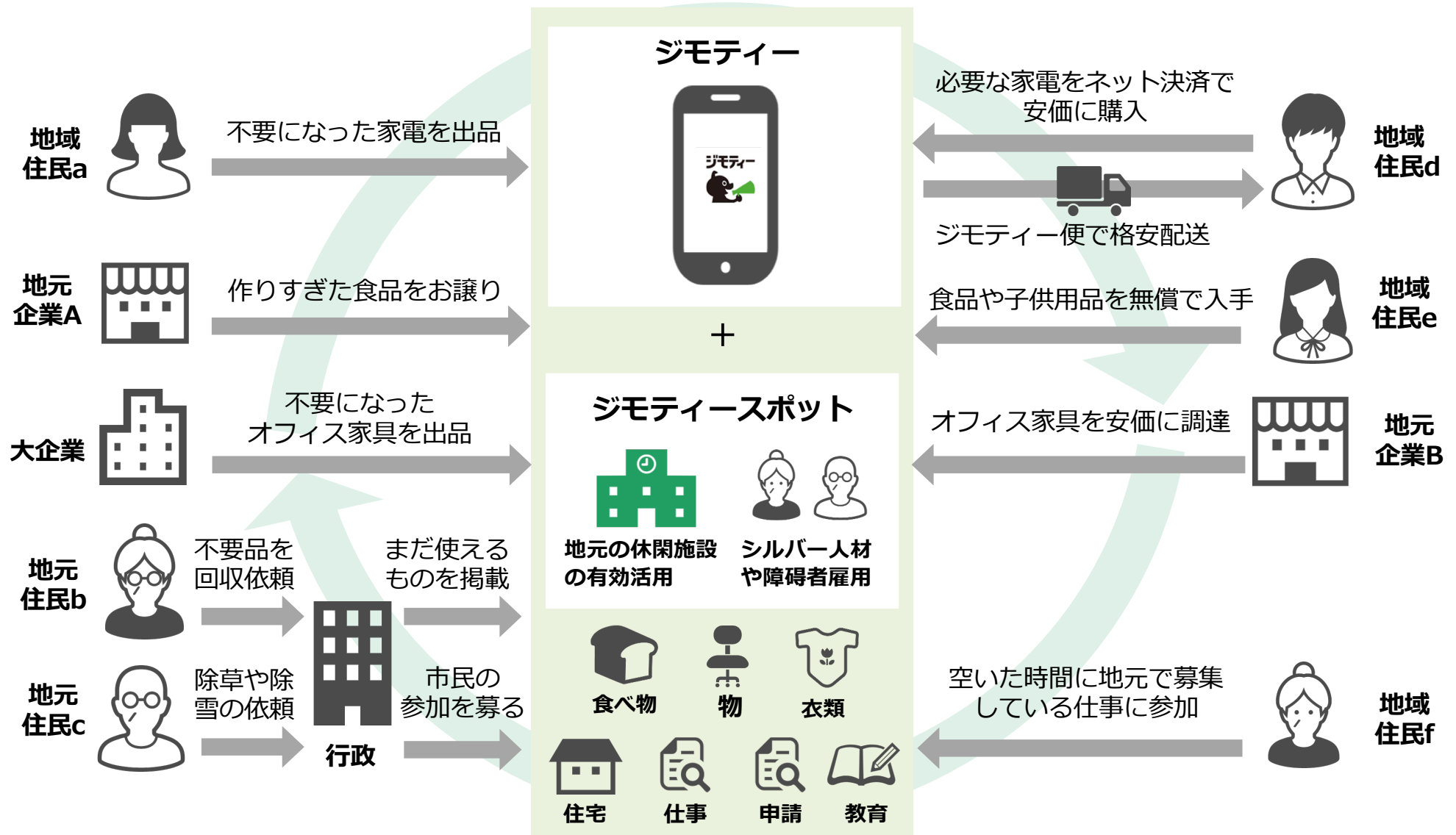
監査役 川波拓人

監査役 神先孝裕

地域の今を可視化して
人と人の未来をつなぐ

実現したい世界観

地域で個人・企業・行政が必要なものを互いに融通しあえる
持続可能で豊かな世界をつくりたい



サービスの規模

月間PVが8億を突破 利用者数も1000万以上と急成長中

月間PV (ページビュー)
約8億PV



印象的な内容や
メロディでお馴染みの
テレビCMを全国展開!



テレビ番組でも「無料
で家具家電が手に入る
サービス」として
TV放映30回以上!

- 中古 ソファー 🔍 1位
- 中古 冷蔵庫 🔍 2位
- 中古 洗濯機 🔍 2位

Yahoo!やGoogleでの
検索でも中古の家具家電
で検索上位に表示!
※19年6/3現在

サービスの概要

地域に根付いたフロー情報をあらゆるカテゴリで無料で掲載可能
地域内でモノ、サービスを見つけることでより豊かな暮らしを送れるようにする



提供カテゴリ

-  売ります・あげます
-  中古車
-  不動産
-  アルバイト
-  正社員
-  地元のお店
-  教室・スクール
-  イベント
-  メンバー募集
-  里親募集
-  助け合い

具体的な掲載内容

各カテゴリで他のサービスには掲載されにくい、お得な情報が増加している

実際の投稿例

投稿の特徴

不要品の譲渡



引っ越しのため家具家電一掃します！
0円

千代田区

2月3日

- ・ 0円で譲渡
- ・ 早く処分

中古車の処分



軽トラ ホンダ アクティ AC
5F
60,000円
アクティ

174,400km

- ・ 高走行距離
- ・ 低価格

アルバイト募集

単発 01/21
日給 11000円
建築

【急募】 01月21日/単発/日払い/
渋谷区:【日給1万円!事務所待…
日給11,000円

東京都 渋谷区

1月18日 ★

- ・ 単発
- ・ 日払い

不動産の入居者募集



【短期シェアハウス】水天宮前駅
から徒歩5分★礼金0円★
12,600円

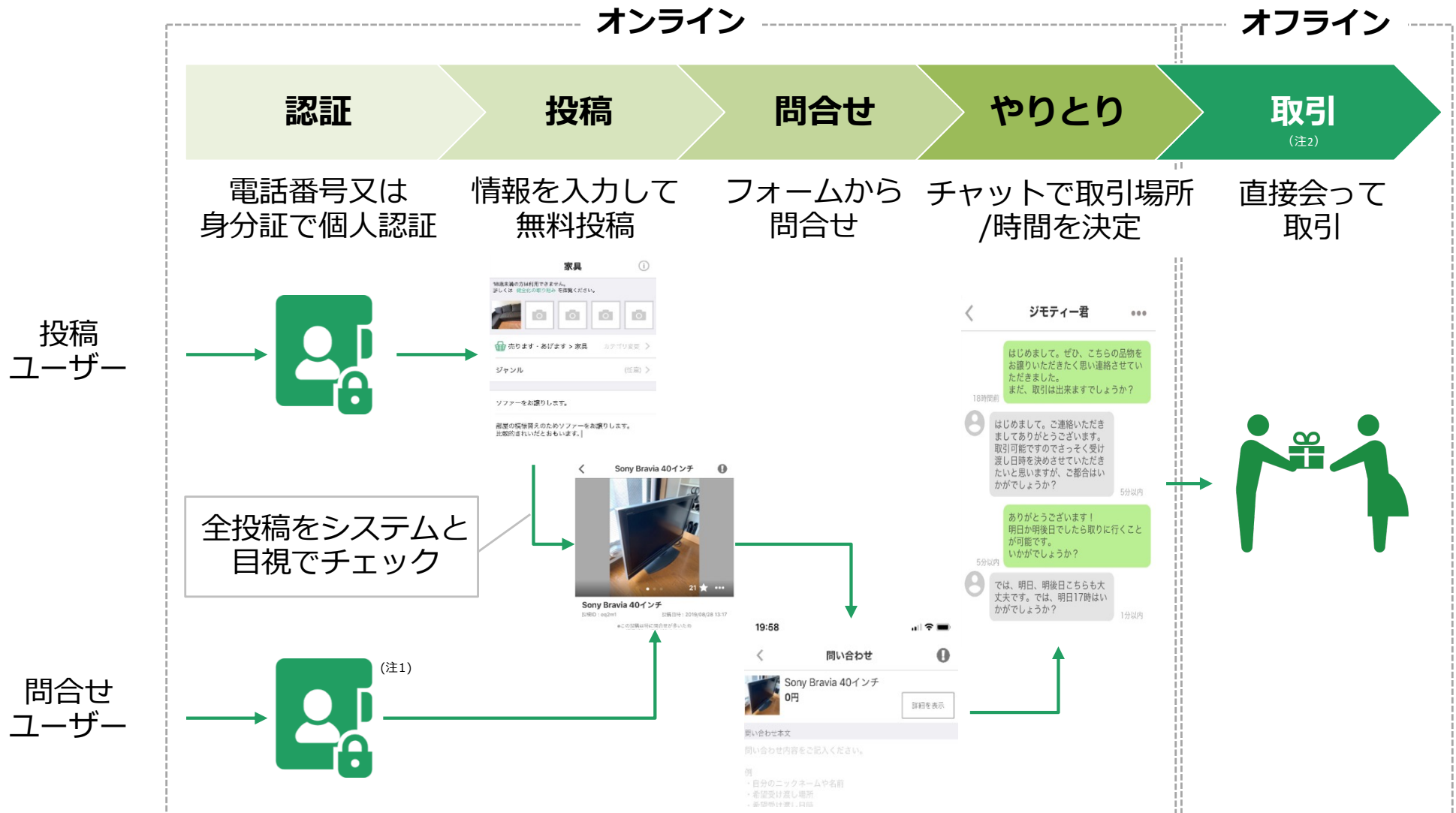
1R 共有部約45.5㎡ 専有部7㎡
水天宮前駅

8月29日

- ・ 低価格
- ・ 初期費用安

ユーザーの利用フロー

オンライン上でやりとり後、オフラインで直接取引を行うことが前提

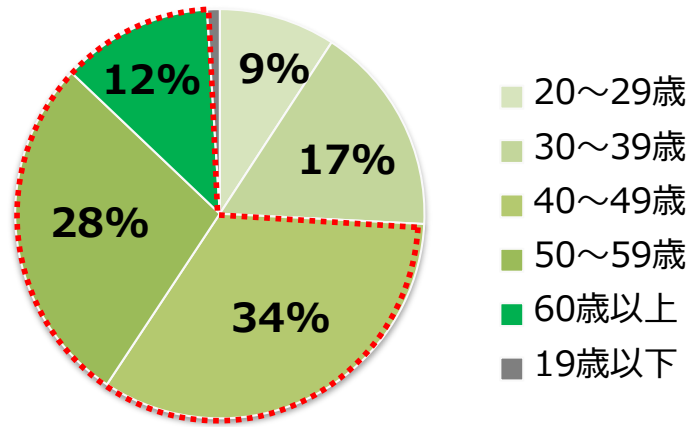


注 (1) 問合せユーザーの認証は一部カテゴリでは任意
(2) 「売ります・あげます」カテゴリにおける取引例

ユーザーの特徴

40代以上の子供のいる女性が多く利用し、日本のひとり親世帯の約5割が利用

40代以上で全体の70%以上 (注1)

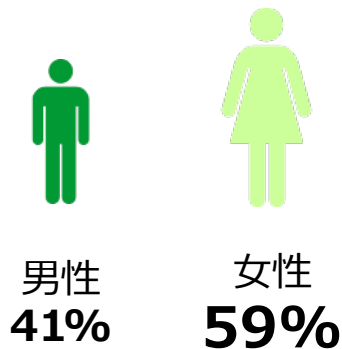


子供有り世帯は平均の約3倍 (注1)

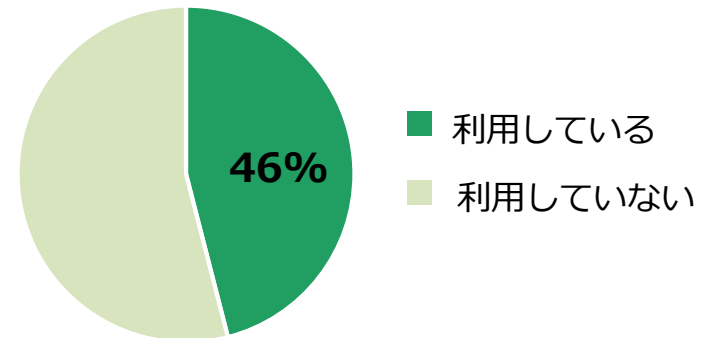


日本のひとり親142万世帯のうち約65万世帯が利用 (注3.4)

女性の利用が約6割 (注2)



ひとり親のジモティー利用状況



注 (1) 出所：会社資料 2018年7月のサービス利用者調査。サンプル数約4,000人
(2) 出所：会社資料 2018年12月のサービス利用者調査。サンプル数約800人

(3) 出所：厚生労働省（平成28年度）「全国ひとり親世帯等調査結果」
(4) 出所：会社資料 2018年7月のサービス利用者調査より当社試算

安心・安全の取組み

健全なサービス提供のため継続的な改善が重要

	認証レベル	投稿の品質	やりとりの質	取引後のケア
取組みの基本姿勢	投稿内容に合わせた認証レベルの担保	投稿品質の維持、禁止物の排除	履歴の保存、トラブルを未然防止	トラブル解決に向けた積極的な関与
実施施策の概要	<ul style="list-style-type: none">投稿時の電話番号 or 身分証必須カテゴリや投稿内容による認証レベルの強化利用履歴引き継ぎ、行動履歴による信頼度の評価	<ul style="list-style-type: none">システム&目視で全件チェック投稿禁止項目の随時アップデート各種外部機関との情報連携	<ul style="list-style-type: none">やりとり内容の全件フィルタリングサービス外でのやりとりの禁止、ユーザー啓蒙^(注)通報情報などによる警告、利用停止、利用禁止の実施	<ul style="list-style-type: none">トラブル時の積極的なケア有事に備えた保険商品の用意評価情報の蓄積による信頼性の向上
	例： <ul style="list-style-type: none">-古物商許可証-法人書類-身分証2枚			

注 カテゴリにより異なる

今後の戦略

SDGsに対する取り組み ～世の中の流れ（1）

世界各国で2050年の温室効果ガスの排出量削減に向け環境問題に対する意識の高まりが見られる

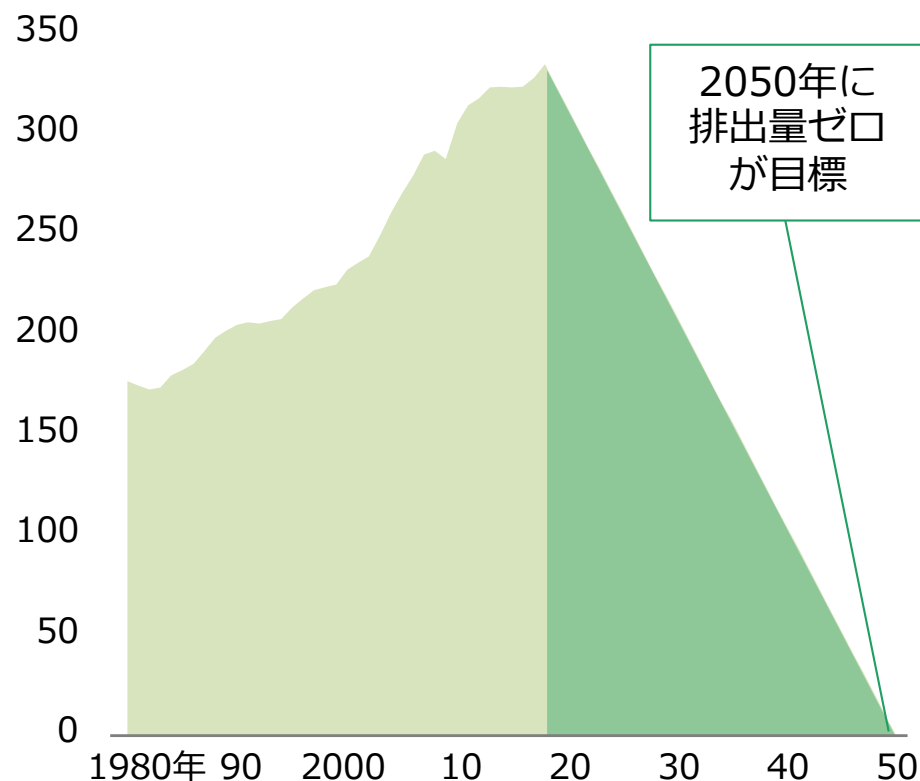
政府の動き

- 2021年4月に40カ国の国と機関の代表らが参加する「気候変動サミット」が開催。2050年までの目標である温室効果ガスの排出量ゼロに向けて各国が新たな目標値を発表。
- 日本でも2030年に向けた削減目標として、2013年に比べ46%削減を目標とすることを掲げるなど、より一層の環境対策が求められている。



CO2の年間排出量

(億トン)

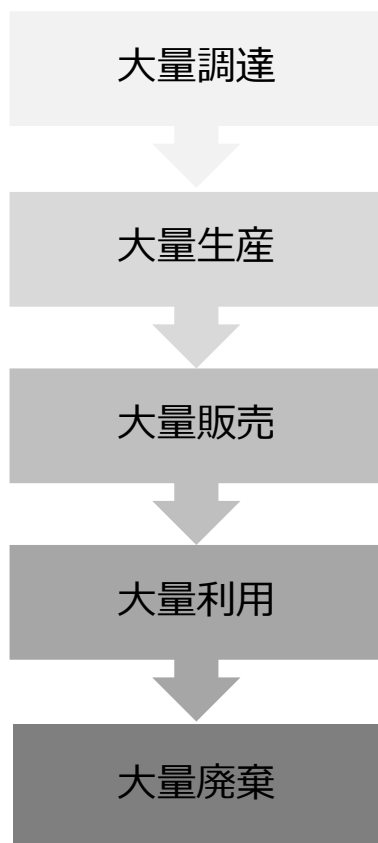


注 出所：2018年までのCO2排出量はIEA（2020年）「CO2 Emissions from Fuel Combustion」

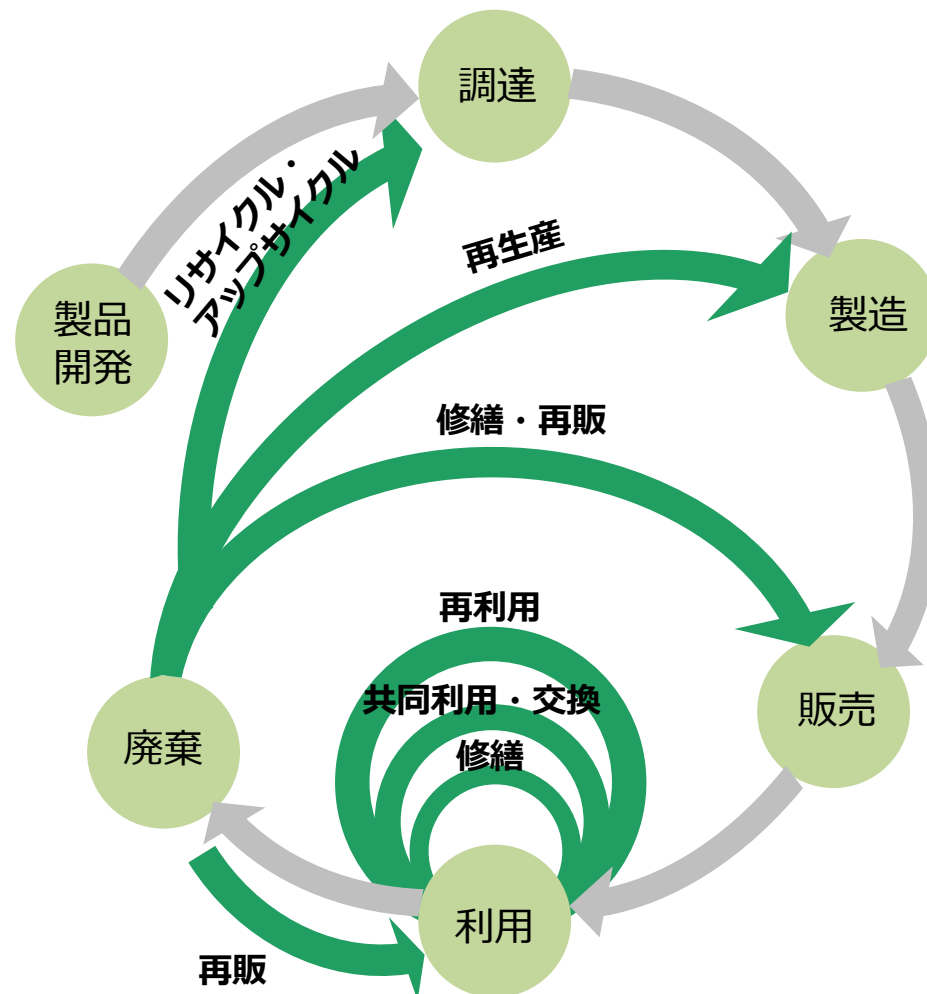
SDGsに対する取り組み ～世の中の流れ（2）

これまでの一方向の「線形経済」から、資源を可能な限り循環させる「循環経済」への変化が求められており、循環経済における当社の貢献余地は高いと認識

一方通行の線形経済 (注)



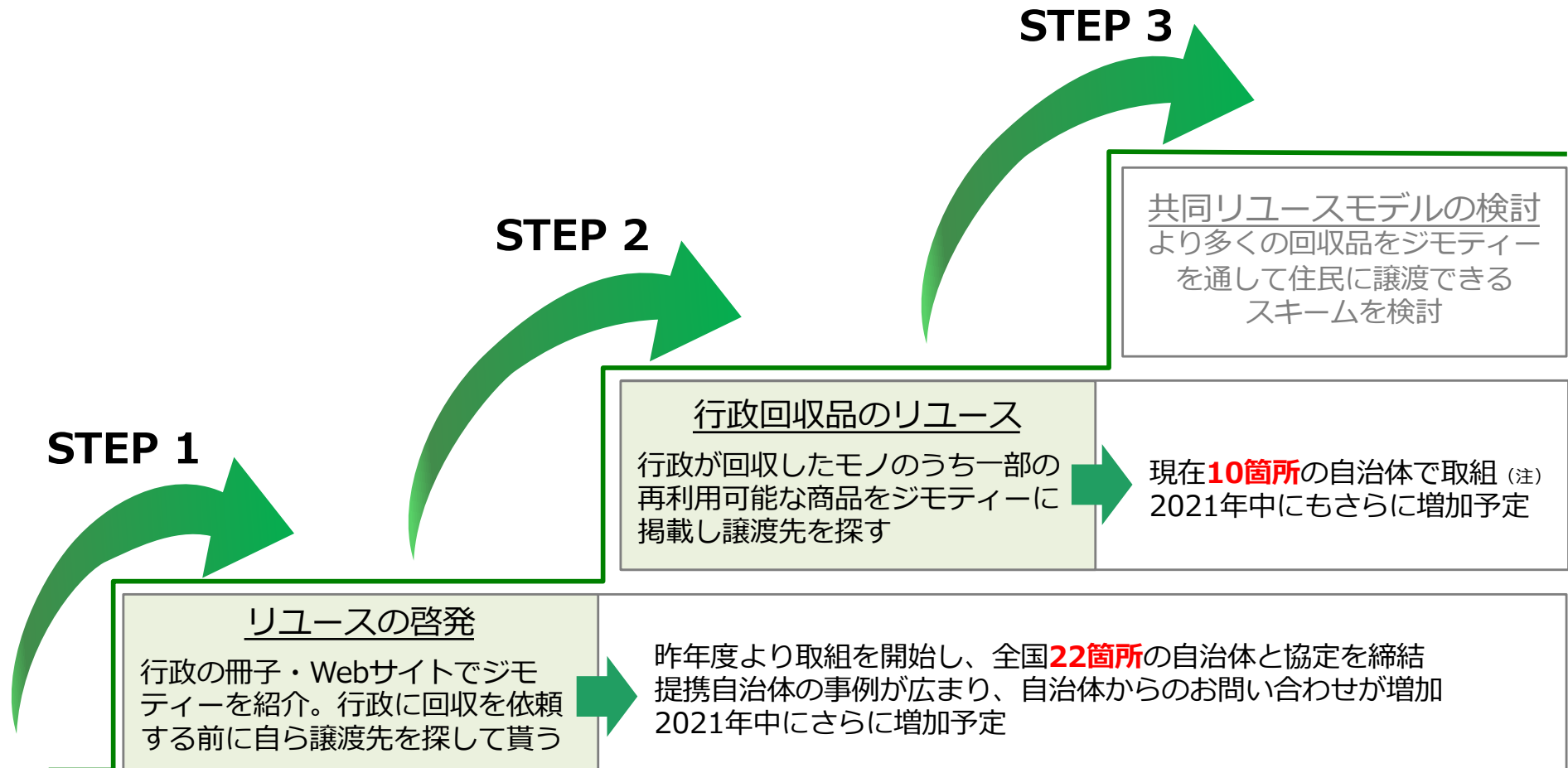
循環型のサーキュラー・エコノミー (注)



注 出所：ピーター・レイシー、ヤコブ・ルトクヴィスト（2019年）「新装版 サークュラー・エコノミー デジタル時代の成長戦略」から当社作成

施策詳細：①行政提携-1

提携数は着実に増加し全国で27箇所の自治体と協定を締結
実効性のある協定へとSTEPを上げていく

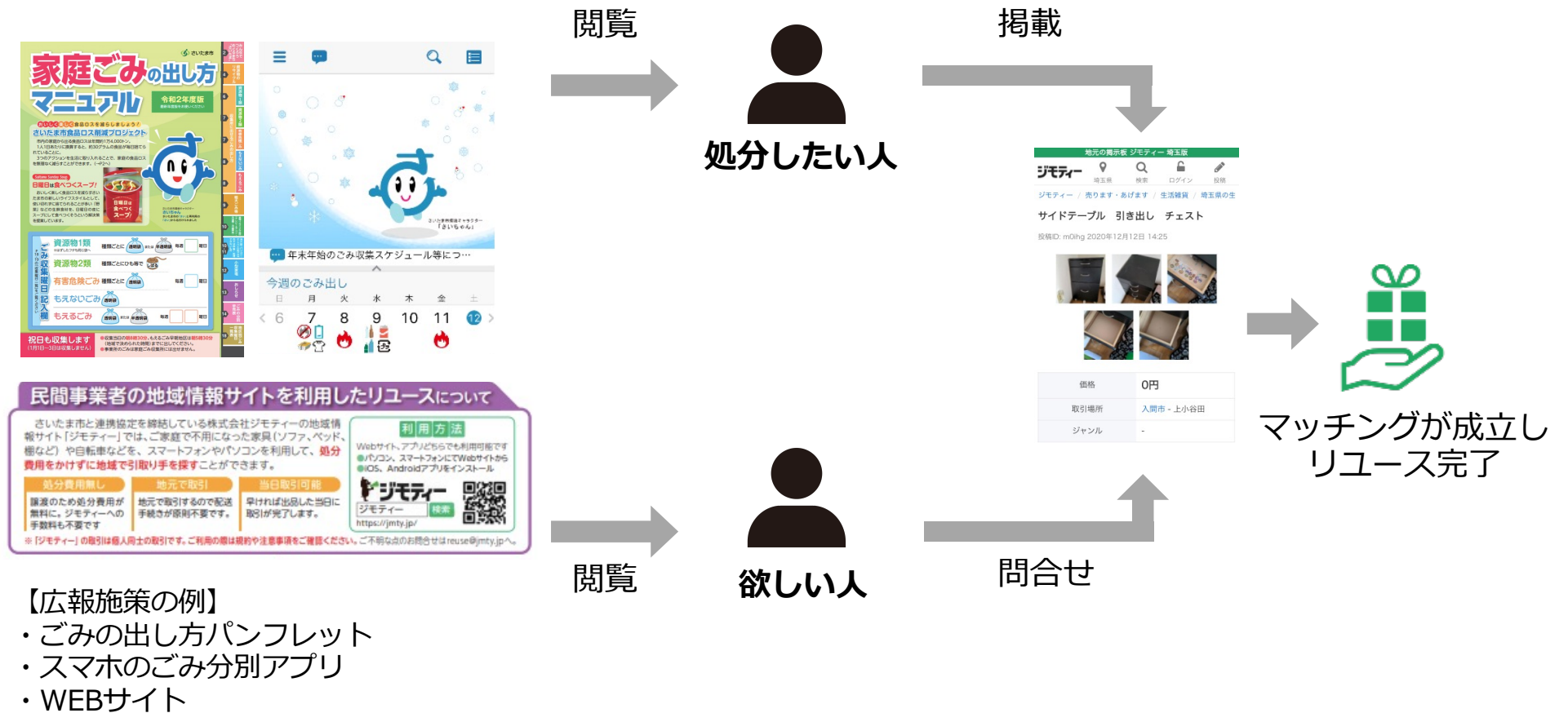


注 掲載予定の自治体を含む

行政との取組事例 (Step1)

行政の冊子・WEBサイト・アプリにジモティーを紹介いただき
「捨てる前に譲る」選択肢を住民に周知する啓発活動を実施

さいたま市の事例



行政との取組事例 (Step2)

行政が回収したリユース品の譲渡をジモティーを通して実施
北見市では出品物の約9割の譲渡が完了し、多くは出品から1~2日以内に譲渡先が決定

北見市の事例

<スキーム>

粗大ごみを
回収・仕分け



まだ使用可能な
モノを選別



施設内で
取り置き・展示



ジモティーで出品



希望者へ譲渡

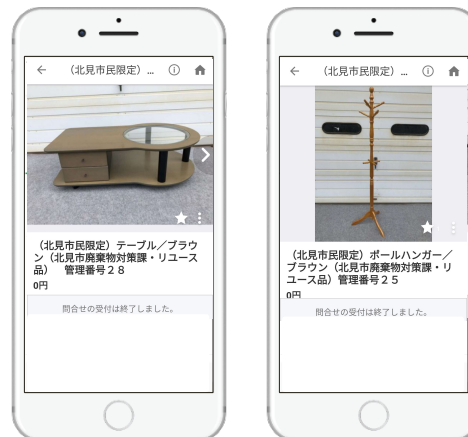


<出品例>

北見市のプロフィールページ



北見市の出品物詳細ページ



・ 出品物は約9割の
譲渡が完了

・ 出品から1~2日
以内で譲り先が決定

クリーンライフセンターで、不要品のテーブルを掲示板サイトに載せる準備をする市職員（北見市提供）



粗大ごみ再利用好調

北見市がごみ減量化のため、粗大ごみで出された家具などを国内最大級のインターネット掲示板サイト「ジモティー」に無料で出品する実証事業の結果をまとめた。昨年7月から今年2月末まで掲載した全109品中、104品の引き渡しにつながった。市はごみの再利用に効果があると判断し、今後も出品を続ける考えだ。

（古市優伍）

市とジモティーが実証事業

サイトを運営するジモティー（東京）は2019年に市内に支社を開設し、市と連携する企業を協定に基づき、ごみ減量と再利用を目指す市の提案で行った。業立地協定を締結。実証事業は

家具や自転車 ネットに掲載 1.2トﾝ削減効果

市はサイトに「北見市廃棄物対策課」のアカウントを作成し、粗大ごみとして回収したり、市廃棄物処理場「クリーンライフセンター」に持ち込まれたりしたごみのうち、まだ利用できるものを出品。市民を対象に引き取りの申し込みを受け付けた。ジモティーは掲示する説明文の助言をするなど協力した。

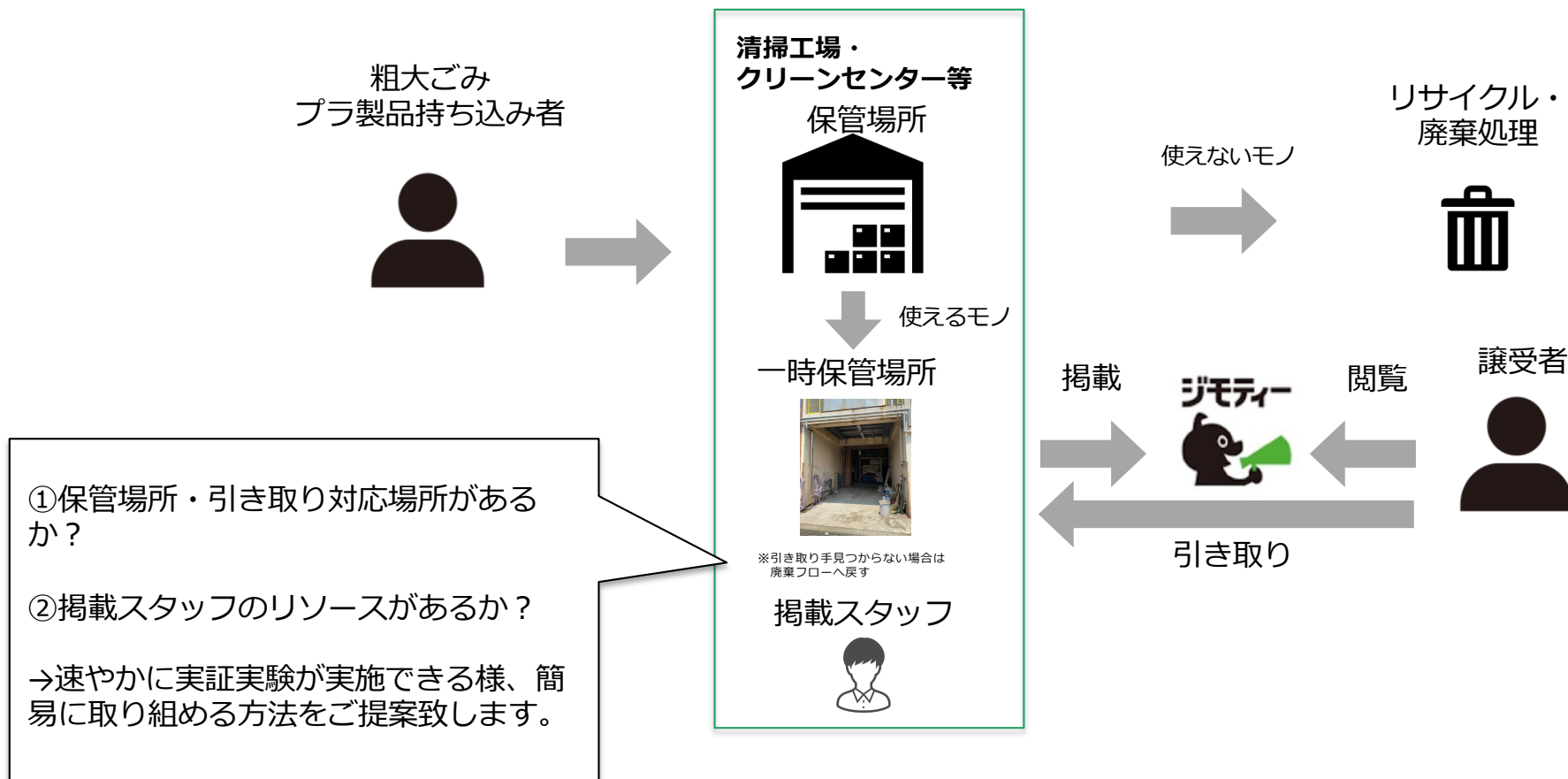
市によると、毎月9〜17品を出品。内訳はテーブル38品、金属製のラック16品、自転車15品などで、61品は掲載当日に申し込みがあった。全104品の総重量に当たるごみの減量効果は1.2ト。引き取られなかった5品は比較的大型か、使用感があるものだった。

市はこれまで毎年6月の環境フェア「くるるん・きたみ」で、粗大ごみとして出された約40品を市民に無料で引き渡してきたが、他に譲渡の取り組みはしていなかった。市廃棄物対策課は「想像以上に良い結果で、市民のリユース意識を醸成する効果もあった」とみる。

ジモティーによると、同社は初めて北見と不要品のリユースの実証事業に着手して以来、全国8自治体と同様の事業を進めている。同社は北見の結果について「市民のニーズが高く、ごみも削減できた」と評価し、先行事例として他自治体でも積極的に展開していくという。

埼玉県各自治体様とのプラ製品リユースのお取り組み

粗大ごみ・プラ製品の持ち込みフローを作る。その中でリユース可能なものはリユースを実施する。



埼玉県各自治体様とのリユースのお取り組み

埼玉県の各自治体様と、既にリユース協定を結ばさせていただき、循環型社会の実現・ごみ削減のための取り組みをさせていただいております。さらに、今後取り組みを拡大させていただきますと幸いです。

- ①プラスチック製品・粗大ごみを出す前のリユース啓蒙
- ②プラスチック製品・粗大ごみとして回収した物品から使えるモノの地域内へのリユース

ご検討いただける自治体様には、詳細のご説明をさせていただきますので、お声がけください。

※埼玉県内の弊社とのリユース協定を既に締結いただいている自治体
さいたま市様、ふじみ野市様、所沢市様

株式会社ジモティー 経営企画室
担当：宮本
business@jmt.y.jp